

令和6年度 磯子地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

磯子駅周辺は、公共施設や医療機関、スーパーなどの商業施設があり便利です。しかし、中高層住宅等では高齢者の孤立が目立ち、医療・食事・生活環境・経済的困難等の問題が多くみられます。
 駅から離れた丘陵地は、景観が良く、静かな住宅地が広がっています。しかし、公共交通の便が悪く、医療機関や商業施設が不足しているため、外出や買い物等の生活課題があります。現在、コンビニの移動販売、スーパーの買物バス運行サービスが始まっています。
 子どもに関しては、「子ども食堂」や区の事業である寄り添い型「学習支援事業」を通し、貧困・孤食などの問題が明らかになっているため、ボランティア中心で運営している、事業を支援します。
 長い新型コロナウイルスの感染防止対策から外出自粛や集う場が減ったことにより、高齢者の孤立・閉じこもり、身体機能や認知機能の低下、意欲低下、経済的な問題等が見られており、それに伴う相談も増加しています。また、地域の繋がりが薄れている中で、更なる地域活動を推進するために、地域での見守りや介護予防、認知症予防、居場所づくりに努めていきます。そのための担い手支援も行います。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	気軽に出来るボランティア講座を磯子地区センターと共催で開催し、ボランティアへの関心を持ってもらう。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サロン主催者の交流会などで後方支援として研修会を実施する。また、感染対策として、ノロ対応キッドなどを団体毎に使用できるよう体制を整える。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	磯子三丁目団地の中庭にて福祉・保健に関するイベントを行い、多くの方に相談窓口や支援の情報提供を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	森一丁目地区の方を中心にフレイル予防、ロコモ予防、認知症予防の講座を講師を招いて行う。また、森一丁目の多くの高齢者が利用しているコナミスポーツクラブと連携した講座を行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	個別ケースの積み上げや総合相談支援の分析による地域課題を明確化する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

URと共催して始めた磯子三丁目団地の中庭を使ったイベントも2回目となり、昨年よりも多くの地域団体、企業の方に協力いただきました。来場者も乳幼児から高齢者、外国の方も多く来場されました。来場された方に磯子地区の魅力を調査した結果、「住みやすい」「優しい方が多い」「行事がたくさんある」など地域に愛される磯子地区であることを実感しました。
 磯子センターと始めたボランティア講座は、自宅でも簡単にできるボランティア活動だったこともあり、講座終了後は自主的な活動団体に発展し、地域の担い手づくりのきっかけになりました。
 来年度は第4期地域福祉保健計画の最終年となります。磯子地域ケアプラザとして一つ一つの出会いを大切にしながら、最終年としての活動実施から第5期地域福祉保健計画に繋げていきたいと思います。

区からのコメント

自宅でも簡単にできるボランティア活動は、ボランティアを気軽に始められるよいアイデアで、地域ケアプラザならではの取組みだと思います。引き続き、地域の方とのつながりを活かして、地域の担い手づくりに広がってほしいことを期待しています。
 URとの共催の磯子三丁目団地のイベント開催では、外国人ボランティアの方にも参加いただくなど、昨年より多くの地域団体等への協力の輪が広がり、地域の皆さまが磯子区に愛着を持っていただけるようなイベントの充実や発展につながっています。介護予防や認知症の普及啓発活動では、多様な主体への働きかけをすることで、相談や連携のしやすい関係づくりにもつながっています。引き続き、普及啓発活動とともに、地域の担い手づくりの取組の推進もお願いします。
 磯子区地域福祉保健計画では、地区の推進会議の開催から事業実施まで、密に連携していただきありがとうございます。来年度も引き続きよろしくお願いたします。